

令和7年度

試験名: 推薦入試

【人間学群 心理学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
「小論文」問題	<p>1. 問題文の選定・出題理由</p> <p>問題文(英文)は、2023年に American Psychological Association の Press releases に掲載された Katherine Novak による論文紹介記事“ When keeping secrets could brighten your day”から抜粋・改変したものである。問題文では、良いニュースを秘密にすることによるポジティブな効果について、特に心理学を専門としない読者も想定し、平易に解説されている。一般的に、秘密を持つことに関する記事・論文においては、それが well-being にとってネガティブな影響をもたらすことが示されてきている。しかし、本記事では良いニュースを秘密にすることに着目し、それがたとえ短い時間であったとしても、活力を感じられるなどのポジティブな影響が生じることを、複数の研究を踏まえて丁寧に説明されている。このような点で、心理学に関心を寄せる受験生にとっても内容的に有益な題材であり、英文の難易度も適切であると判断し、これを選定するに至った。</p> <p>問1は、下線部①を日本語に適切に訳すことができるかどうかを問う問題である。下線部①は問題文全体で述べられていることを端的に示す重要な箇所であり、秘密にすることのネガティブな効果は、秘密にすること自体から生じるものなのか、ネガティブな意味合いの秘密を持つことから生じるのかという疑問について、適切に訳出できるかを問う。</p> <p>問2は、下線部②にあたる、ポジティブな秘密の保持による肯定的な効果に関する、ポジティブな感情以外に考えられる理由を理解し、それらを日本語で適切にまとめられるかを問う問題である。</p> <p>問3は、本文全体の内容を理解した上で、自分の意見を適切に述べるができるかどうかを問う問題である。本文では、良いニュースを秘密にすることのポジティブな効果として、「活力を感じる」点を中心に説明されている。ここでは、ポジティブな秘密を持つことの影響を、ポジティブな側面に限らず、多角的に想像・思考し、論述できるかが問われる。</p> <p>2. 採点要領</p> <p>(1) 試験時間は2時間で、辞書の持ち込みは許されていない。</p> <p>(2) 問題は問1から問3までである。英文を題材として、文章の理解と理解した内容に関する自分の考えを論述する能力を問う問題である。</p> <p>(3) 各問題文、解答例は以下に示す通りである。</p> <p>問1 下線部①を日本語に訳しなさい。</p> <p><解答例></p> <div data-bbox="440 1742 1433 1989" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">(この部分は、著作権の都合により公開できません)</div> <p>問2 下線部②が何であることを200字以内で説明しなさい。</p>

<解答例>

ネガティブな秘密は外的な圧力や恐怖によって支配されることが多いのに対して、ポジティブな秘密は、情報を秘密にすることを自分で選ぶことが多い。つまり、自分の楽しみのため、あるいはサプライズをより刺激的なものにするためといった、個人的な欲求や内的な動機でそれは選択されている。自分の欲求に基づいて行動しているように感じられると、人は何が待ち受けていても引き受ける準備ができているように感じられるため。(197字)

問3 **keeping positive secrets** によってどのような影響があるか、本文に書かれていること以外で、あなたの考えを600字以内で述べなさい。その際、ネガティブな影響を含めてもよい。